

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元年 6月27日

仕事の内容	し尿処理事業			
担当部署・課長名	ごみ対策 課	ごみ減量 係	課長名	中山 仁

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 ごみの減量とリサイクル促進	施策番号	4 - 7	
	総合計画書 (ページ)	97	

予算名	款 4	衛生費	項 2	清掃費	目 3	し尿処理費	事業 1	し尿処理事業
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	------	--------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 くみ取り式便所及びし尿浄化槽の所有者または占有者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 便槽及び浄化槽の設置数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、定期的な清掃を実施する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 清掃実績/設置数×100
	③ そのために何をしましたか。 くみ取り式便所及びし尿浄化槽の所有者または占有者からの申請に基づき、し尿のくみ取りまたは浄化槽汚泥の清掃作業を実施した。 作業については、委託契約を結んだ許可業者が、市の指示により実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①くみ取り便所 41 ②し尿浄化槽 76 ③合併浄化槽 1

2 指標の推移		単位		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	か所	便槽 59 し尿浄化槽 388 合併浄化槽 5 合計 452	便槽 58 し尿浄化槽 331 合併浄化槽 5 合計 394	便槽 58 し尿浄化槽 316 合併浄化槽 4 合計 378	/	/
	成果指標	②の数値	%	34.3	33.8	31.1	/	/
	目 標	②の目標値		/	/	50.0	50.0	50.0
		目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値		便槽 54 し尿浄化槽 99 合併浄化槽 2 合計 155	便槽 50 し尿浄化槽 81 合併浄化槽 2 合計 133	便槽 41 し尿浄化槽 76 合併浄化槽 1 合計 118	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	42,393,600	40,418,221	43,636,597	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	29,387,600	26,986,221	36,681,597	
		特定財源	円	13,006,000	13,432,000	6,955,000	
		(うち受益者負担)	円	1,696,000	1,463,000	1,595,000	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1人	1人	1人	
		所要人数(再任用)	人	0人	0人	0人	
		職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	50,660,600	48,671,221	51,880,597		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和29年7月1日、清掃法の施行に伴い固有事務として開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 昭和60年以降、公共下水道の供用が順次開始され、現在の整備率は99.9%になっている。

仕 事 の 内 容	し尿処理事業			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	公共下水道の供用開始区域内における、便槽を使用している場所の臭気に関して近隣住民からの苦情などがある。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	公共下水道の整備率は、99.9%の状況にあることから、市街化区域内に設置されているくみ取り便所及びし尿浄化槽は、早急に公共下水道へ接続する義務がある。したがって、公共下水道使用者との間で、公平性に欠けるものとなっている。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
くみ取りの申請者に対し、納付書の郵送時にチラシ（下水道接続の促進）を同封	
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
公共下水道の整備率は、99.9%の状況にあることから、市街化区域内に設置されているくみ取り便所及びし尿浄化槽に、早急に公共下水道へ接続する義務がある。したがって、公共下水道使用者との間で、公平性に欠けるものとなっている。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	公共下水道への接続促進と併せて、し尿処理手数料については、処理原価を勘案した改定を行うことが求められる。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	し尿処理事業費を削減するには、公共下水道への接続促進が下水道課となっていることから、共同で進めていく必要がある。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は削減する。